＜グロウジェクトお客様相談窓口＞

フリーコール

0120-999-393

オペレーター対応／9:00～17:00
（土・日・祝祭日・会社休日を除く）
留守番電話対応／17:00～9:00
（留守番電話対応は翌営業日にご連絡致します）

携帯電話からの通話もできます。
病気やお薬に関するご質問は、医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

グロウジェクトお客様相談窓口でお伺いする個人情報の取り扱いにつきましては、
別紙『「グロウジェクトお客様相談窓口」での個人情報の取り扱いに関するお知らせ』
を参照ください。

医療機器承認番号 22400BZX00097000

＜製造販売元＞
パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5 西新橋MFビル

＜販売元＞
JCRファーマ株式会社
〒659-0021 兵庫県芦屋市春日町3-19

GT2 030-1 1207
MY 20 INT

Growjector® 2

成長ホルモン製剤 グロウジェクトBC注射用8mg 専用注入器

グロウジェクター® 2 使い方ガイド

監修 神奈川県立こども医療センター 内分泌代謝科 部長 安達 昌功

JCR Pharmaceuticals Co., Ltd.

はじめに

グロウジェクター2は、専用製剤グロウジェクトBC注射用8mgおよびA型専用注射針を取り付けて使用する、成長ホルモン専用電動式医薬品注入器です。

この使い方ガイドでは、グロウジェクター2を用いた注射の手順、メニュー操作、困ったときの対処方法などを説明しています。

ご使用に際しては、医師などの指示にしたがい、また、必ずこの使い方ガイドをよくお読みください。

投与量について

薬の投与量は医師が設定しますので、注射のたびに投与量を設定する必要はありません。投与量と専用製剤1本あたりの投与回数は自動で計算されますので、表示される投与回数が毎回同じでなかったり、新しい専用製剤に交換するときに薬液が少し残っている場合がありますが、問題はありません。

投与量の変更には**グロウジェクター2**が必要です。
診察日には、充電したグロウジェクター2を必ずお持ちください。

もくじ

各部の名称と注意点

グロウジェクター2のセット内容

冷蔵保存ケース

専用製剤を入れて、冷蔵庫で保管します。

専用充電台

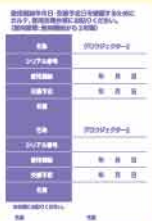
本体の充電、保管に使用します。

専用ACアダプタ

充電方法についてはp.4を参照ください。

※専用製剤はセットに梱包されていません。

注）グロウジェクター2をお使いになる前に、取扱説明書の安全上のご注意を必ずご確認ください。

使用開始シール

使用開始年月日・交換予定日を確認するためにカルテ、専用充電台等にお貼りください。

取扱説明書

この使い方ガイドとともに参照ください。

添付文書

本体の使用期間中、大切に保管してください。

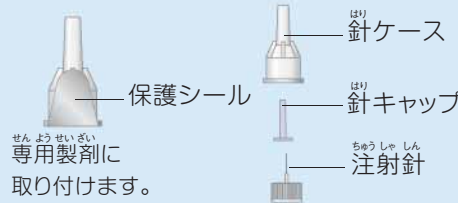
用意するもの

グロウジェクトBC注射用8mg（専用製剤）

はじめに注射針を取り付けてから使用します。

専用製剤は溶解前・溶解後のいずれも、冷蔵庫の凍らない場所に保管してください。
注射するおよそ30分前に冷蔵庫から取り出して室温に戻しておいてください。

A型専用注射針（注射針）

専用製剤に取り付けます。

消毒用アルコール綿

専用製剤の先端部のゴム栓と注射する場所の消毒に使用します。

グロウジェクター2に関する注意点

- グロウジェクター2は何も操作しないで約10分間放置すると自動的に電源が切れます。操作の途中で電源が切れた場合は再度電源ボタンを押してください。
- 薬液などで汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

専用製剤に関する注意点

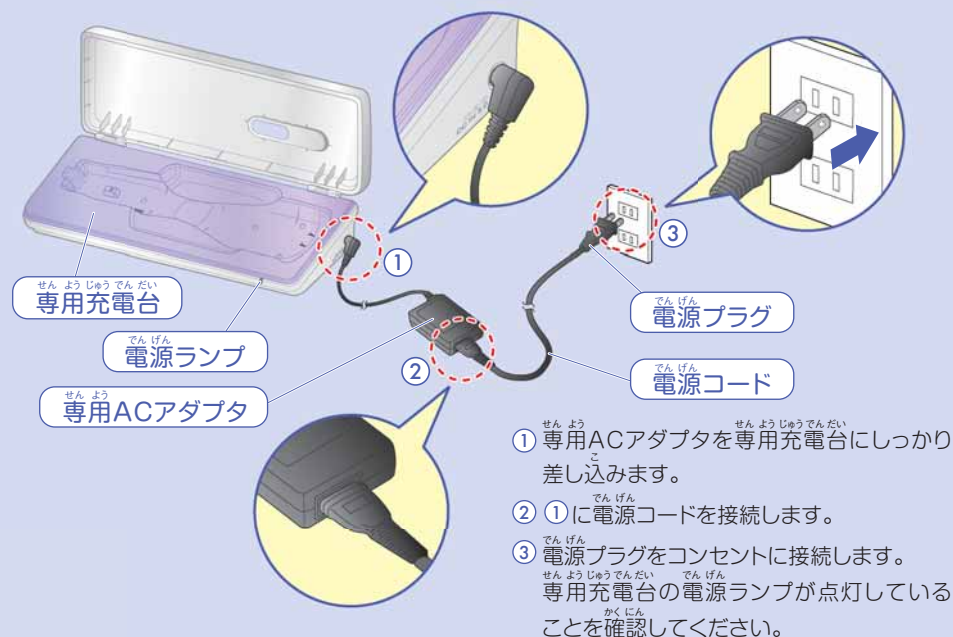
- 使用期限（専用製剤のラベルに記載）を過ぎた専用製剤は使用しないでください。
- 溶解後の専用製剤は、42日以内に使用してください。42日を過ぎると、電源を入れたときに表示部に「薬の使用期限が過ぎました」と表示され、次の操作に進むことができなくなります。
- 薬が完全に溶けなかった場合、または浮遊物が見られた場合には使用しないでください。

注射針に関する注意点

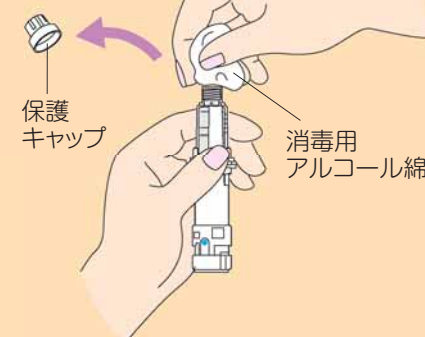
- 注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。
- 注射後は必ず注射針を取り外してください。
- 一度使用した注射針は再使用せず、毎回新しい注射針を使用してください。

各操作ボタンの役割

専用充電台の通電方法

① 専用ACアダプタを専用充電台にしっかり差し込みます。
② ①に電源コードを接続します。
③ 電源プラグをコンセントに接続します。
専用充電台の電源ランプが点灯していることを確認してください。

STEP 1 注射針の取り付け

専用製剤に注射針を取り付けます

- 後ろから出ている針先に触れないよう、注意してください。
- 保護シールが破損している場合は使用しないでください。
- 針刺しには十分気を付けてください。

①

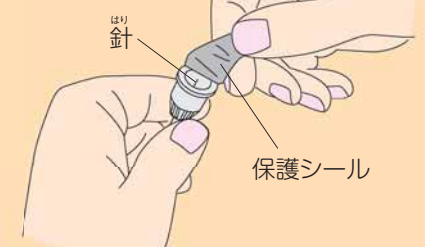
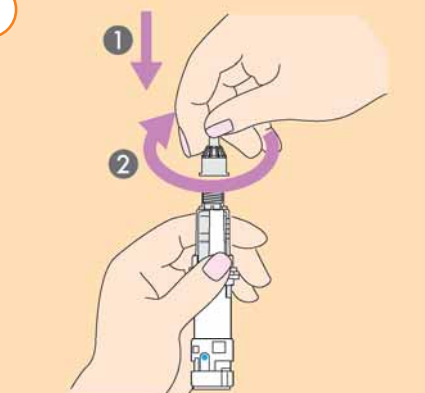
専用製剤は、注射をするおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻しておきます。

専用製剤の保護キャップを取り外し、先端部のゴム栓を消毒用アルコール綿でふきます。

保護キャップは注射後に使用しますので、廃棄しないでください。

②

注射針の保護シールをはがします。

③

注射針を矢印❶の方向にまっすぐに刺し、少し押しながら矢印❷の方向に止まるまで回し、しっかりと取り付けます。

注射針が正しく取り付けられていないと、本体に専用製剤を取り付けにくくなったり、溶解が正しく行われなくなります。

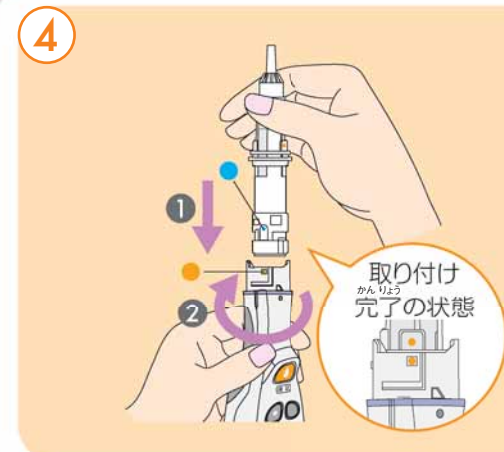
次は STEP 2 (p.6) へ

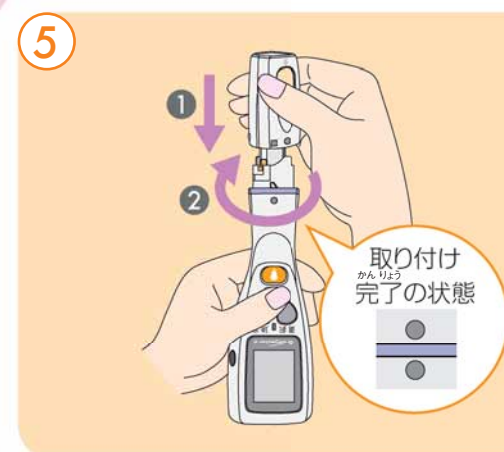
STEP2 専用製剤の取り付け

本体　に専用製剤を取り付けます

①

電源ボタン を押して電源を入れます。

本体を操作するときは、表示部に表示された文字の方向に合わせて操作を行ってください。

②

本体の注射針側を上に向けると、「薬とキャップを取り付けます」と表示されます。

③

先端キャップを矢印❶の方向に回して●と■を合わせた後、矢印❷の方向に引き、取り外します。

④

専用製剤の●と本体の●を合わせ、矢印❶の方向に差し込んだ後、矢印❷の方向にカチッと音がするところまで回します。

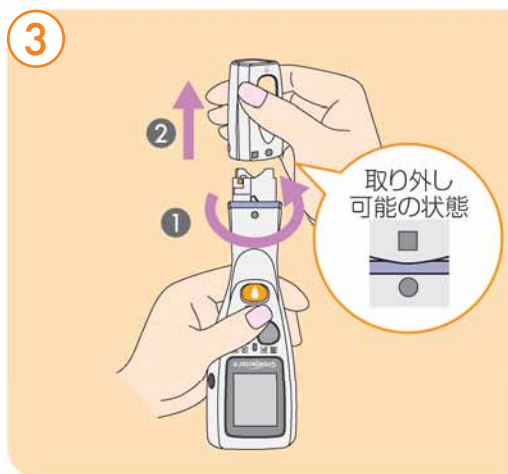
専用製剤の●と本体の●が合っていることを確認してください。

⑤

先端キャップの■と本体の●を合わせて矢印❶の方向にまっすぐ差し込んだ後、先端キャップを矢印❷の方向にカチッと止まるところまで回します。

先端キャップの●と本体の●が合っていることを確認してください。

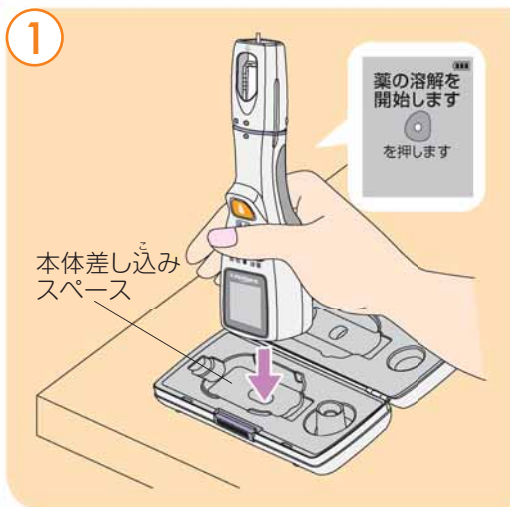
専用製剤および先端キャップが正しく取り付けられていない場合、次の操作に進みません。

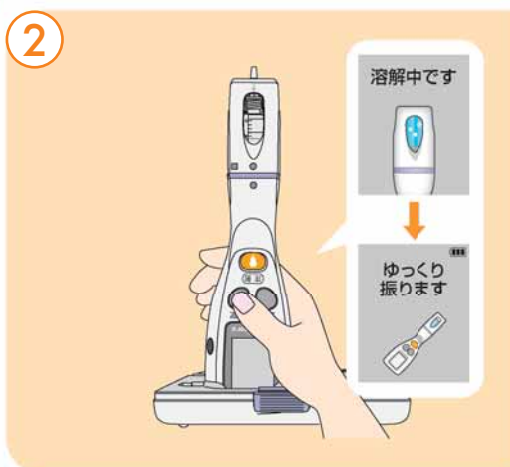
⑥

「薬の装着ができたら」と表示されたら、決定ボタン を押します。

次は STEP 3（p.8）へ

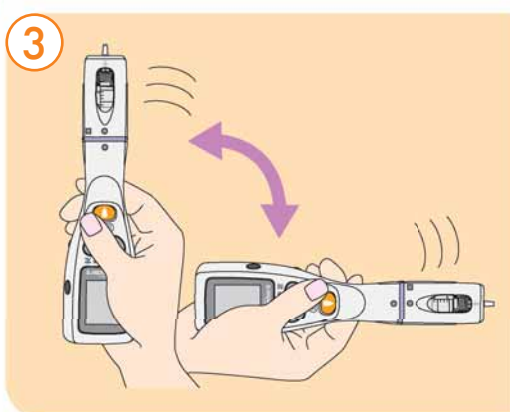
STEP3 専用製剤の溶解

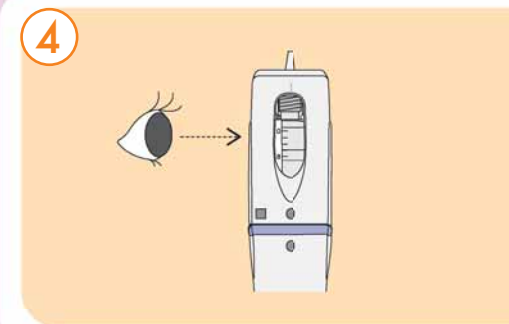
専用製剤を溶解 します

①

「薬の溶解を開始します」と表示されていることを確認し、本体を冷蔵保存ケースの本体差し込みスペースに立てます。

②

を押します。
「溶解中です」と表示され、自動的に専用製剤の溶解が行われます。

そのまま「ゆっくり振ります」と表示されるまで、お待ちください。

③

泡立てないように針先を上下に**ゆっくり**動かし、薬（白い粉末）を溶解します。

④

先端キャップの確認窓から専用製剤を見て、溶け残りの薬がないことを確認してください。

⑤

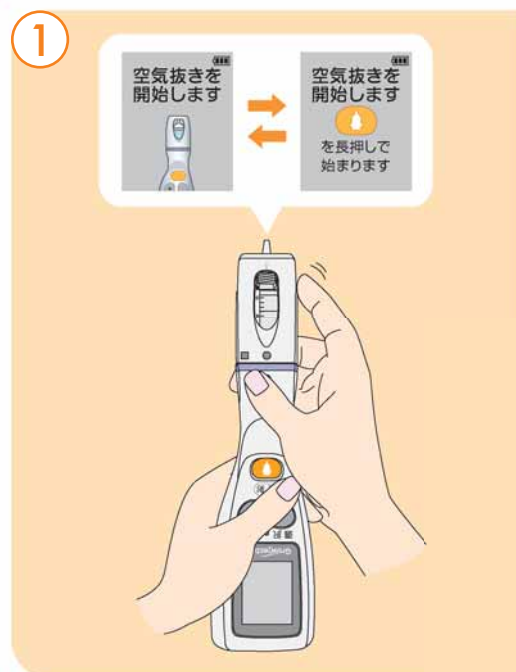
薬が完全に溶解していたら を押します。これで専用製剤の溶解は完了です。

薬が完全に溶けなかった場合、または浮遊物が見られた場合にはその専用製剤は使用せず、**グロウジェクトお客様相談窓口（フリーコール:0120-999-393）**までご連絡ください。

次は STEP 4（p.10）へ

STEP 4 空気抜き 専用製剤の空気を抜きます

● 空気抜きは新しい専用製剤を取り付けるときのみ行います。2回目以降は必要ありません。

①

専用製剤の溶解が完了すると、「空気抜きを開始します」と表示されます。

先端キャップを指で軽くたたき、空気の泡を注射針側に集めます。

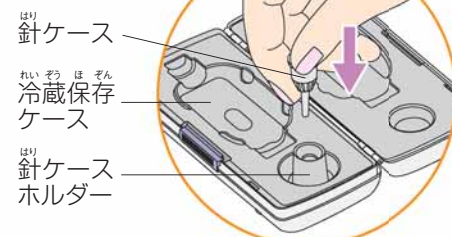
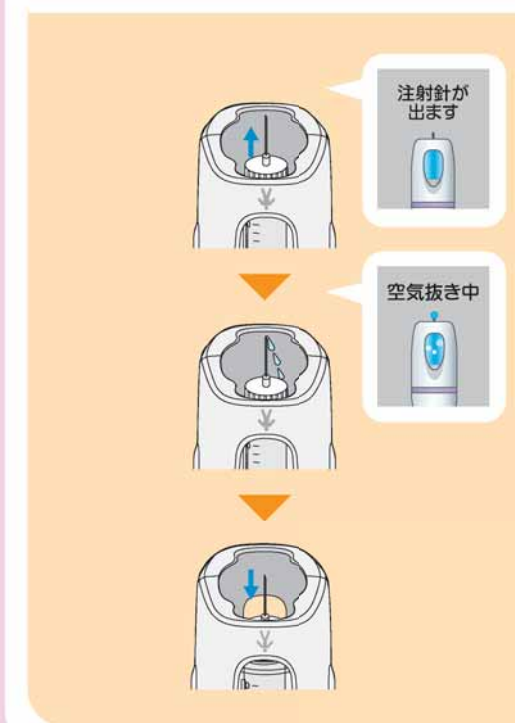
②

針刺しには十分気を付けてください。

針ケースと針キャップをまっすぐ上に引っぱって取り外します。

針ケースは冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置きます。

針キャップは使用しないので廃棄してください。

③

注射針側を上に向けて、注射ボタンを長押しします。

「注射針が出ます」と表示され、注射針が先端キャップより上に出ます。

空気抜きが終わると、注射針が自動的に下がります。

針先から薬液が出てこない場合はを長押しし、再度空気抜きを行います。

空気が気になるときは「グロウジェクター2についてのQ&A」の Q.4 (p.31) へ。

④

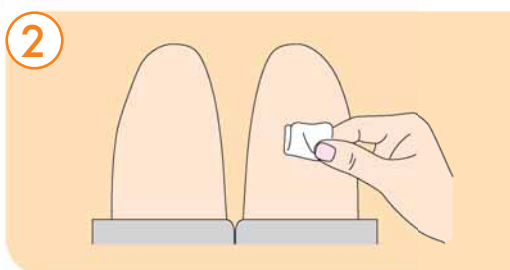
針先から薬液が出てきたら、を押します。これで空気抜きは完了です。

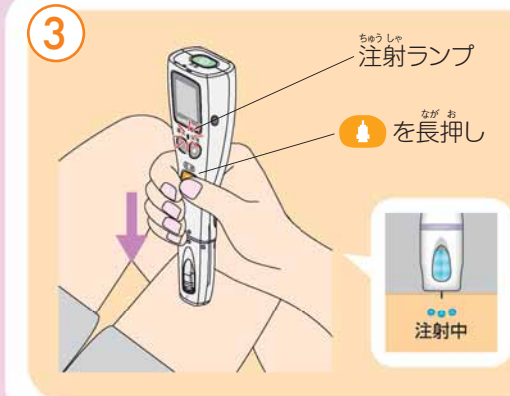
次は STEP 5 (p.12) へ

STEP5 注射 注射を行います

①

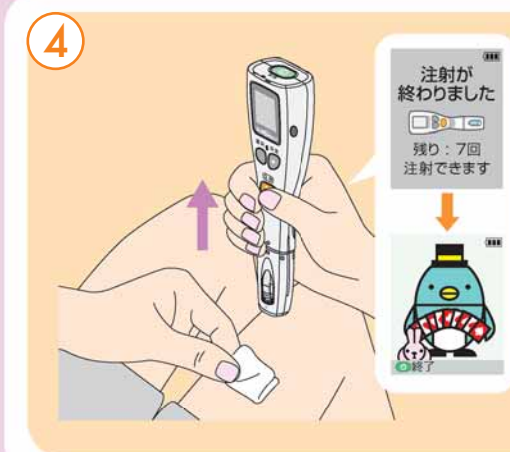
「注射できます　残り:○回」と表示されていることを確認します。

②

注射する場所を消毒用アルコール綿でふきます。

③

注射する場所に先端キャップをしっかり押し当てた状態で、を長押しします。

注射ランプの点滅と同時に、「注射中」と表示され、自動で注射が行われます。そのまま保持してください。

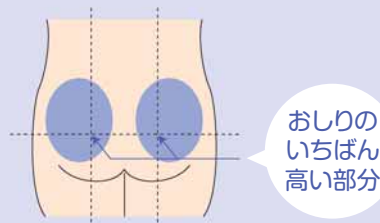
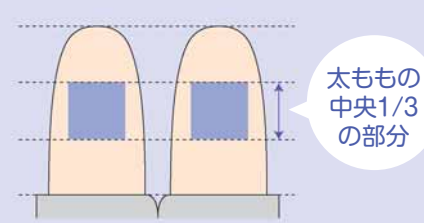
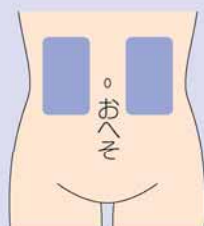
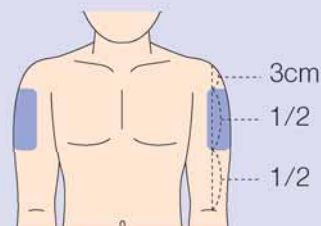
注射ランプの点滅が消えると、自動で注射針が上がります。

④

本体を注射した場所からはなし、消毒用アルコール綿で注射した場所を軽く押さえます。

これで注射は完了です。

「注射が終わりました　残り:○回注射できます」に続いて「イラスト」が表示されます。

⑤

を押すと、「薬を取り外します」と表示されます。

専用製剤を使い切るときには…

「注射が終わりました」、「イラスト」に続いて、「お待ちください」と表示され、自動的にリセットが始まります。STEP8（p.20）に進んでください。

次は STEP 6（p.14）へ

STEP6 注射が終わったら 専用製剤を取り外し、次回の注射まで冷蔵庫に保管します

● 針刺しには十分気を付けてください。

①

冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに針ケースが置いてあることを確認してから、先端キャップを差し込みます。

本体を持ち上げて、針ケースがかぶさっていることを確認してください。

針キャップは取り付けません。

②

先端キャップを矢印❶の方向に回して●と■を合わせた後、矢印❷の方向に引き、取り外します。

③

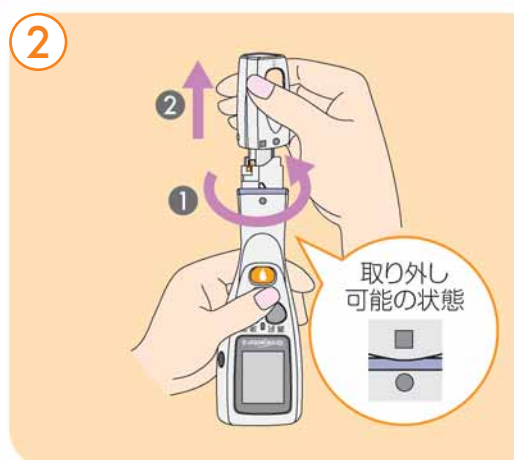
専用製剤を矢印❶の方向に止まるところまで回した後、矢印❷の方向に引き、取り外します。

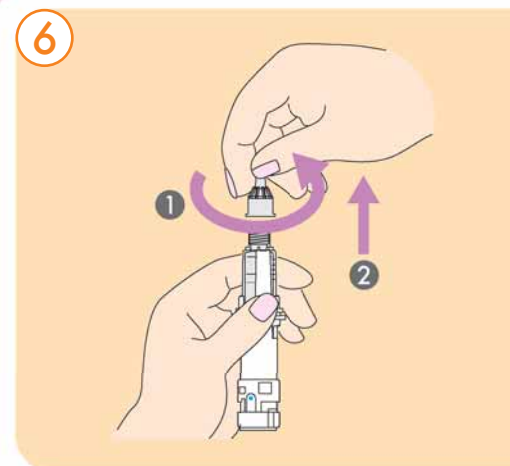
専用製剤を取り外すと、自動で電源が切れます。

④

先端キャップの■と本体の●を合わせて矢印❶の方向にまっすぐ差し込んだ後、先端キャップを矢印❷の方向にカチッと止まるところまで回します。

先端キャップの●と本体の●が合っていることを確認してください。

⑤

本体を専用充電台にセットし、本体ランプが点灯していることを確認してください。

⑥

針ケースを矢印❶の方向に十分回し、矢印❷の方向に引き、針ケースごと注射針を取り外します。

取り外した注射針は、医師などの指示にしたがって廃棄します。

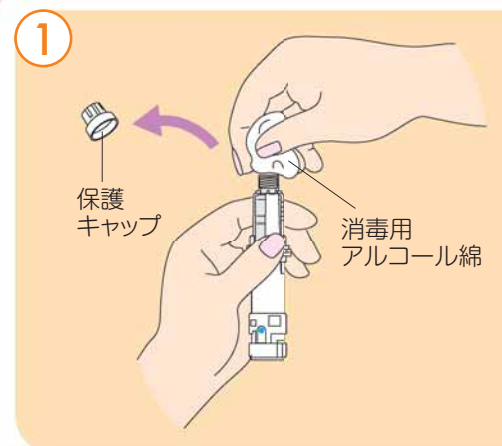
STEP6 注射が終わったら

専用製剤を取り外し、次回の注射まで冷蔵庫に保管します

7

専用製剤に保護キャップを取り付け、冷蔵保存ケースに入れて冷蔵庫の凍らない場所で保管してください。

STEP7 2回目以降 注射の準備

- 後ろから出ている針先に触れないよう、注意してください。
- 保護シールが破損している場合は使用しないでください。
- 針刺しには十分気を付けてください。

1

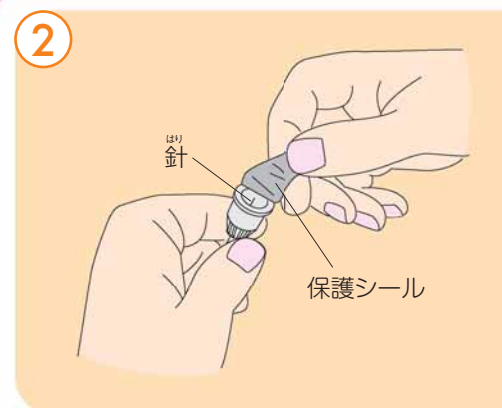
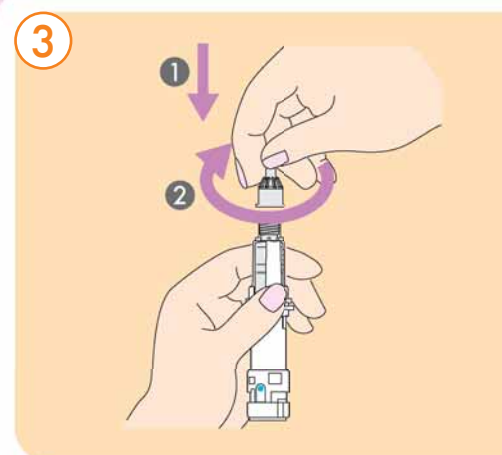
専用製剤は、注射をするおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻しておきます。

専用製剤の保護キャップを取り外し、先端部のゴム栓を消毒用アルコール綿でふきます。

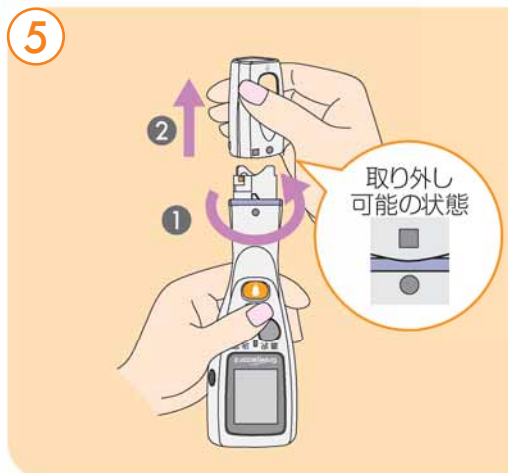
保護キャップは注射後に使用しますので、廃棄しないでください。

2

注射針の保護シールをはがします。

3

注射針を矢印❶の方向にまっすぐに刺し、少し押しながら矢印❷の方向に止まるまで回し、しっかりと取り付けます。

注射針が正しく取り付けられていないと、本体に専用製剤を取り付けにくくなります。

STEP 7 2回目以降 注射の準備

④

（電源ボタン）を押して電源を入れます。

「薬とキャップを取り付けます」と表示されます。

⑤

先端キャップを矢印❶の方向に回して●と■を合わせた後、矢印❷の方向に引き、取り外します。

⑥

専用製剤の●と本体の●を合わせ、矢印❶の方向に差し込んだ後、矢印❷の方向にカチッと音がするところまで回します。

専用製剤の●と本体の●が合っていることを確認してください。

⑦

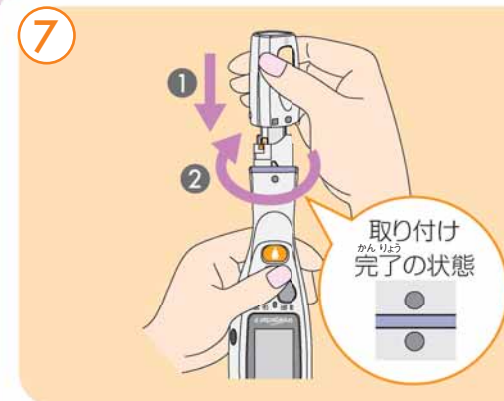
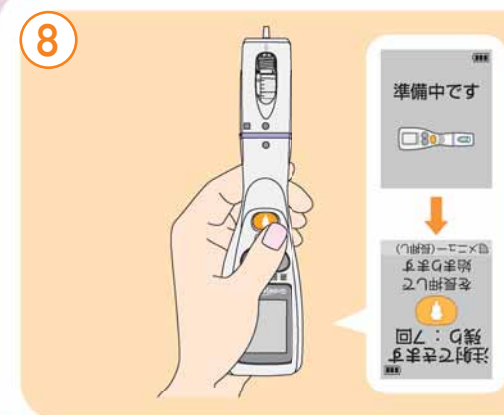
先端キャップの■と本体の●を合わせて矢印❶の方向にまっすぐ差し込んだ後、先端キャップを矢印❷の方向にカチッと止まるところまで回します。

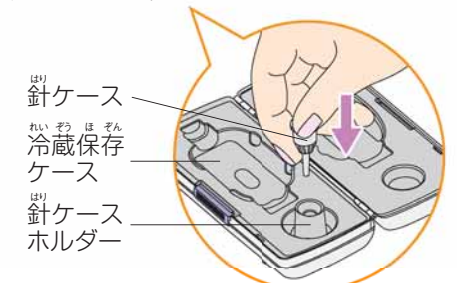
先端キャップの●と本体の●が合っていることを確認してください。

専用製剤および先端キャップが正しく取り付けられていない場合、次の操作に進みません。

⑧

「準備中です」の後、「注射できます　残り:○回」と表示されるまで待ちます。

⑨

針刺しには十分気を付けてください。

針ケースと針キャップをまっすぐ上に引っぱって取り外します。針ケースは冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置きます。

針キャップは使用しないので廃棄してください。

次は STEP 5 (p.12) へ

STEP 8 専用製剤を使い切ったら

①

専用製剤を使い切ると「注射が終わりました」、「イラスト」に続いて「お待ちください」と表示され、自動的にリセットが始まります。リセット中は先端キャップを取り外したりしないでください。

リセットが完了し、専用製剤が取り外し可能な状態になると「薬を取り外します」と表示されます。

STEP6 ①～⑥（p.14～15）にしたがって専用製剤と注射針を取り外し、⏻を押して電源を切ります。

取り外した注射針・専用製剤は、医師などの指示にしたがって安全に廃棄します。

次回の注射は STEP 1（p.5）から操作

専用製剤溶解後42日が過ぎた場合

専用製剤の使用期限は、溶解から42日間です。一度溶解した薬液は42日以内に使用してください。
使用期限が過ぎると、「薬の使用期限が過ぎました」と表示されますので、次の手順にしたがって操作してください。

専用製剤溶解後42日が過ぎると、「薬の使用期限が過ぎました」と表示された後、「薬を交換しましょう」と表示されます。

◉を押すと、「お待ちください」と表示され、自動的にリセットが始まります。

専用製剤が取り外し可能な状態になると、「薬を取り外します」と表示されます。

STEP6 ①～⑥（p.14～15）にしたがって専用製剤と注射針を取り外し、⏻を押して電源を切ります。

取り外した注射針・専用製剤は、医師などの指示にしたがって安全に廃棄します。

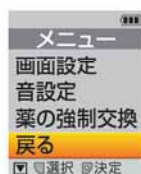
次回の注射は STEP 1（p.5）から操作

メニュー操作

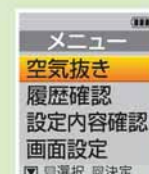
以下の手順で『メニュー』画面を表示し、空気抜き、履歴確認、設定内容の確認、薬の強制交換、画面・音の設定を行うことができます。

本体の電源を入れた状態で、選択ボタン を長押しすると『メニュー』画面が表示されます。

ただし、専用製剤の溶解中など本体動作中は、表示できません。

操作したい項目を で選択します。
選択されている項目はオレンジ色で示されます。
各メニューの操作は、p.23～27をご参照ください。

元の画面に戻るときは、 で「戻る」を選択し、 を押します。

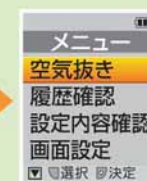
空気抜き

注射するときは空気が注射針とは反対側に移動するため、専用製剤内に空気の泡が多少残っていても問題ありません。
空気抜きは、専用製剤交換後8回まで行ったところで、それ以上できなくなります。

『メニュー』画面を表示し、
 で「空気抜き」を選択した後、 を押します。

注射針側を上に向けると、『空気抜き』画面が表示されます。

先端キャップを指で軽くたたき、専用製剤内の空気の泡を注射針側に集めます。

針ケース・針キャップを取り外してから を長押ししてください。

「注射針が出ます」と表示され、注射針が先端キャップより上に出ます。

空気抜きが終わると、注射針が自動的に下がり、『メニュー』画面に戻ります。

空気抜き回数が8回を超えても空気が気になるときは、「グロウジェクター2についてのQ&A」の Q.4 (p.31)へ。

メニュー操作

投与履歴の確認

過去に行った注射の記録を確認できます。

『メニュー』画面を表示し、
で「履歴確認」を選択した後、を押します。

『履歴確認』画面が表示されたら、
で「リスト表示」を選択した後、を押します。

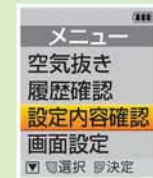
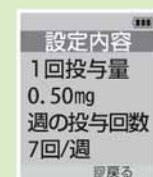
※イラスト表示についてはp.27をご参照ください。

1週間分の投与履歴が表示されます。
投与ありは 、投与なしは と表示されます。

を押すと、さらに過去の投与履歴を確認することができます。表示の最大日数は111日前までで、注射した当日(1行目)は、注射終了時から12時間までは「○時間前 」、12時間以降は「今日 」と表示されます。

を押すと、『履歴確認』画面に戻ります。
で「戻る」を選択し、を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

設定内容確認

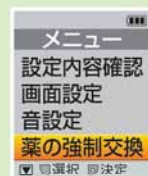
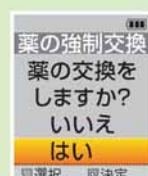
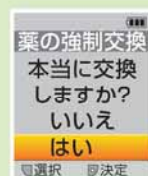
医療機関で設定された投与量を確認することができます。

『メニュー』画面を表示し、
で「設定内容確認」を選択した後、を押します。

(AUTO設定時)

(MANUAL設定時)

医療機関で設定された内容が表示されます。

を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

薬の強制交換

専用製剤に異常が見られる場合など、薬液がまだ残っているにもかかわらず、新しい専用製剤に交換するときに行います。
必ず先端キャップを本体に取り付けた状態で行ってください。

『メニュー』画面を表示し、
で「薬の強制交換」を選択した後、を押します。

「薬の交換をしますか?　いいえ　はい」と表示されたら、
で「はい」を選択した後、を押します。

「本当に交換しますか?　いいえ　はい」と表示されたら、
で「はい」を選択した後、注射針側を上に向けて を押します。

「お待ちください」と表示され、自動的にリセットが始まります。

専用製剤が取り外し可能な状態になると、「薬を取り外します」に切り替わります。

STEP6 ①～⑥（p.14～15）の操作にしたがい、専用製剤と注射針を取り外してください。

本体の表示部・音の変更

表示部のイラスト、背景色や音を変更できます。

イラスト確認

前回の注射後に表示されたイラストの確認

❶『メニュー』画面を表示し、で「履歴確認」を選択し、を押します。

❷『履歴確認』画面が表示されたら、で「イラスト表示」を選択し、を押します。

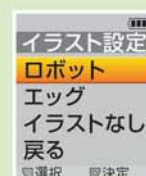
背景色変更

表示部の背景色の変更：背景色の変更に伴って、電源を入れたときのスタートアップ画面も変更されます。

❶『メニュー』画面を表示し、で「画面設定」を選択し、を押します。

❷『画面設定』画面が表示されたら、で「背景色設定」を選択し、を押します。

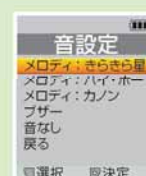
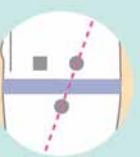
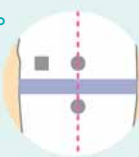
❸『背景色設定』画面が表示されたら、で変更したい背景色を選択し、を押します。

イラスト設定

注射後に表示されるイラストの設定：注射ごとにパーツが追加され、6～7回目の注射で1つのイラストが完成します。

❶『メニュー』画面を表示し、で「画面設定」を選択し、を押します。

❷『画面設定』画面が表示されたら、で「イラスト設定」を選択した後、を押します。

❸『イラスト設定』画面が表示されたら、で変更したいイラストを選択し、を押します。
※イラストなしも設定できます。

音設定

自動溶解中や注射中の音設定

❶『メニュー』画面を表示し、で「音設定」を選択し、を押します。

❷『音設定』画面が表示されたら、で変更したい音を選択し、を押します。

お知らせ表示一覧

操作中、「お知らせ表示」が表示されることがあります。以下の内容が表示された場合は、「確認しましょう」にしたがって操作してください。

お知らせ表示	確認しましょう	
注射針側を上に向けましょう	注射針側が上に向いていない、または本体が傾いています。	注射針側をまっすぐ上に向けて操作してください。
注射針と薬の装着を確認しましょう	注射針または専用製剤が正しく取り付けられていません。 注射針が浮いていませんか? ●と●がずれていませんか?	注射針または専用製剤を取り付けなおしてください。 押しながら回す ●と●を合わせる
キャップの装着を確認しましょう	先端キャップが正しく取り付けられていません。 ●と●がずれていませんか?	先端キャップを取り付けなおしてください。
充電不足です 終了	充電不足です。	⏻ を押して電源を切った後、専用製剤を取り外してから、STEP6 ⑤ (p.15) をご参照のうえ、再度充電してください。
注射針を確認しましょう 決定	針づまりなど、注射針に異常があります。	STEP1 (p.5) をご参照のうえ、新しい注射針に交換して、● を押した後、再度操作を行ってください。
これ以上は空気抜きができません 決定	空気抜き回数が8回を超えました。	空気抜きは専用製剤溶解後8回までしか行うことができません。注射するときは、空気が注射針とは反対側に移動するため、空気の泡が多少残っていても注射には影響ありません。空気が気になるときは、「グロウジェクター2についてのQ&A」の Q.4 (p.31) をご参照ください。

お知らせ表示	確認しましょう	
正常に注射針が刺さりませんでした 終了	針ケースや針キャップを取り付けたまま注射をしているようです。	⏻ を押して電源を切り、再度 ⏻ を押し、電源を入れます。針ケースや針キャップを取り外してから、注射を行ってください。
正常に注射針が抜けませんでした 終了	注射後、注射針が元に戻りませんでした。	本体を注射した場所からゆっくりはなしてください。⏻ を押して電源を切り、再度 ⏻ を押し、電源を入れます。注射針が先端キャップから出ていないことを確認してください。
薬の使用期限が過ぎました	専用製剤の使用期限（溶解後42日）が過ぎています。	専用製剤溶解後42日が過ぎた場合(p.21)をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。
本体期限が近づいてきています	耐用期間（使用開始から3年間）の残りが3ヵ月以下です。	通常どおり使用できますが、電源を入れるたびに表示されます。医師に連絡し、耐用期間内に新しいグロウジェクター2に交換してください。
本体期限が間近です	耐用期間（使用開始から3年間）の残りが1ヵ月以下です。	通常どおり使用できますが、電源を入れるたびに表示されます。医師に連絡し、耐用期間内に新しいグロウジェクター2に交換してください。
本体期限が過ぎました	グロウジェクター2の耐用期間（使用開始から3年間）が終了しました。	電源は入りますが使用することはできません。ただちに医師に連絡し、新しいグロウジェクター2に交換してください。
本体異常です 使用できません	グロウジェクター2に異常があります。	使用することができませんので、ただちに医師に連絡し、新しいグロウジェクター2に交換してください。

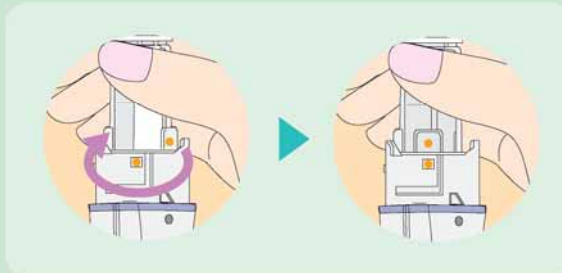
グロウジェクター2についてのQ&A

グロウジェクター2の操作中、困ったときにご参照ください。表示部にお知らせ表示があるときは、お知らせ表示一覧（p.28〜29）をご参照ください。また、正しく操作しても正常に動作しない場合は、**グロウジェクトお客様相談窓口（フリーコール:0120-999-393）**までご連絡ください。

Q.1 本体の⏻を押しても電源が入りません。

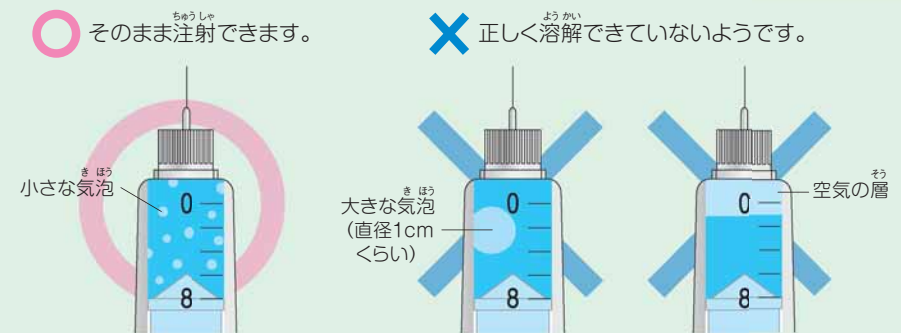
A.1 十分に充電されていない可能性があります。「専用充電台の通電方法」（p.4）および STEP6 ⑤（p.15）をご参照のうえ、専用製剤を取り外してから、再度充電してください。このときに、本体ランプおよび専用充電台の電源ランプが点灯していることを必ず確認してください。

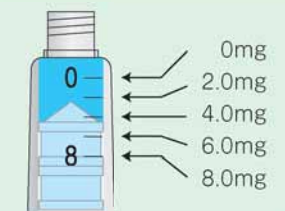
Q.2 専用製剤と先端キャップを取り付けているのに、「薬とキャップを取り付けます」と表示されて、操作を進めることができません。

A.2 専用製剤の取り付け位置がずれているようです。先端キャップを取り外し、専用製剤をカチッと音がするところまで回し、専用製剤の●と本体の●が合っていることを確認してください。

Q.3 空気抜きのときに💧を押しても、注射針から薬液が出てきません。

A.3
- 専用製剤の中にある空気が多かったり、針先を上に向けていない場合には、針先から薬液が出てこないこともあります。針先から薬液が出てくるまで、再度空気抜きを行ってください。
- また、繰り返し空気抜きを行っても針先から薬液が出てこない場合は、注射針の針づまりなどの可能性があります。新しい注射針に交換してください。

Q.4 「これ以上は空気抜きができません」と表示されるまで空気抜きの操作を行っても、専用製剤内に空気がまだ残っています。

A.4 残っている空気が小さな気泡であれば、問題ありません。そのまま注射を行ってください。なお、専用製剤の注射針側を上に向けて見たときに、目盛りの0よりも下まで空気の層がある場合には、正しく溶解できていないことが考えられます。**グロウジェクトお客様相談窓口（フリーコール:0120-999-393）**までご連絡ください。

Q.5 専用製剤内の薬液残量を確認する方法はありますか？

A.5 専用製剤の側面の目盛りで薬液残量を確認することができます。1目盛りは、おおよそ2mgに相当します。

Q.6 医療機関で投与量を変更してもらった後、電源を入れたら「注射針と薬の装着を確認しましょう」と表示されたので、注射針を取り付けた専用製剤と先端キャップを取り付けたところ、注射回数が残っていたのに自動的にリセットが始まってしまいました。

A.6 投与量の変更後、専用製剤の残量が1回投与量の1/2以下になると、自動的にリセットが始まります。これはグロウジェクター2に専用製剤を過不足なく使うための自動調整機能がついているからです。リセット完了後、新しい専用製剤に交換してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

※ご使用の前に、以下の注意をよくお読みください。
※ここに示した注意事項は、ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぎ、
グロウジェクター2を安全に正しくお使いいただくためのものです。必ず守ってください。

⚠ 危 険　死亡や重傷を負うおそれが大きい内容

- 内蔵の充電池は、本製品専用の充電式電池です。解体し本製品以外に使用しない。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
  発熱・発火・破裂の原因となります。
- 専用充電台は本製品専用の充電器です。本製品以外の充電には使用しない。
  電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 必ず、付属の専用ACアダプタおよび電源コードを使用する。
  火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告　死亡や重傷を負うおそれがある内容

- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っぱる、重いものを載せる、束ねる など）
  傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- 内蔵の充電池から電解液が漏れている場合には電解液に触れない。
  電解液が目に入ったとき失明のおそれがあります。

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
  感電の原因となります。

- ぬらさない。
  発火・感電の原因となります。

- 絶対に分解や修理・改造をしない。
  内部にさわると感電の原因となります。

- 雷がなったら、コンセントに接続している専用ACアダプタ、専用充電台、本製品には触れない。
  感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。
  たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
  差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる。
  電源プラグにほこりなどがたまると、湿度などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 専用充電台の中に、硬貨や指輪などの金属物を入れない。
  感電・ショート・火災の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、変なにおいや音がしたら、電源プラグをコンセントから抜く。
- 内部に水や異物が入ったときや外装ケースが破損したときは、使用をやめ電源プラグを抜く。
  そのまま使用すると、ショート・発火の原因となります。

⚠ 注 意　軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容

- 本製品や専用充電台を不安定な場所に置かない。
  落下などにより、けがの原因となります。

- 電源コードを抜くときは必ず電源プラグを持って抜く。
  電源コードが破損すると、感電の原因となります。

- お手入れの際は、本製品の電源を切り、安全のため電源プラグを抜く。
  感電の原因となります。

取り扱い方法

- グロウジェクター2は日本国内専用のため、海外では使用しないでください。
- 本体の内部をつついたり、乱暴に扱わないでください。内部の装置が破損することがあります。
- 電子レンジ、携帯電話など、電磁波の発生する電子機器の近くでは操作しないでください。
  内部の装置が正常に動作しないおそれがあります。
- グロウジェクター2および専用充電台、専用ACアダプタを水など、液体でぬらさないでください。
  本体内部に液体が浸入した場合、故障するおそれがあります。

保管方法

- グロウジェクター2は、専用充電台にセットして、一般的な生活環境（温度:10℃～40℃）の、清潔な場所に保管してください。

耐用期間および廃棄に関して

- グロウジェクター2の耐用期間は、使用開始から3年です。交換時期がきましたら、医師などへご相談ください。
- 機器の廃棄に関しては、医師などの指示にしたがってください。
- 使用済みの注射針、消毒用アルコール綿および専用製剤は、医師などの指示にしたがって、安全に廃棄してください。

グロウジェクター2、専用充電台のお手入れ方法

【普段のお手入れ】
グロウジェクター2の外側と専用充電台を、乾いたやわらかい布でふいてください。

【汚れがひどいとき】
汚れがひどい場合は、やわらかい布に、水または薄めた中性洗剤をしみこませ、よく絞った状態でふいてください。

【次のものは使わない】
石油/みがき粉/シンナー/ベンジン/ワックス/熱湯/せっけんなどを使うと、変色・変質などのおそれがあります。

【月に一度のお手入れ】
グロウジェクター2および専用充電台の充電端子を、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。汚れていると充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。
専用ACアダプタの電源プラグも、乾いたやわらかい布でふいてください。ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災のおそれがあります。